

団体名	明石 のはら くらぶ		
団体の所在地	明石市	代表者名	丸谷 聡子

1. 事業名	環境学習サポート事業
2. 実施期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
3. 主な実施場所	県立明石公園他
4. 活動形態	・普及啓発活動 ・実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①環境体験学習フォローアップとして、一般的な観察会ではなく、明石のはらくらぶオリジナルの観察会の開発と実施</p> <p>・夕涼み自然かんさつ会 小学3年生～5年生親子6組・教員2名他計31名</p> <p>・春休み自然たんけん隊in明石公園 小学生20名・教員2名・大学生6名他計32名</p> <p>②環境体験学習サポーターネットワークの情報交換会・スキルアップ研究会の実施(年4回)と情報紙の発行(年3回)</p> <p>③環境体験学習担当教員のための情報紙の発行(「のはら くらぶ だより」 年2回発行)明石市市内28小学校の環境学習担当教員に配布</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>①身近な自然の素晴らしさや小さな命の存在に気づき、関心を持つ体験を通して、地域への愛着や思いやりの心が育まれた。持続可能な社会実現のための未来の担い手育成への手ごたえを感じた。また、親子での参加の機会を設けることで自然を介した親子の会話も弾み、その後も家族で自然体験をするなどの報告もあり、子育て世代にも関心を持ってもらうきっかけとなった。</p> <p>②環境体験学習のサポーターにおいて現在起きている学校との温度差や関わり方の問題などについてお互いに情報交換することで改善がみられたケースもあった。また、横のつながりができることで、お互い勇気づけられ頑張る意欲がでたという声も聞かれた。さらに、スキルアップ研究会で身につけたスキルを使って質の高いサポートができるようになった。</p> <p>③環境体験学習担当教員への情報提供や環境教育についての意識の醸成の一助になった。</p>
7. 成果物	<p>②サポーターネットワークだより発行(年3回)</p> <p>③環境体験学習担当教員のための情報紙の「のはら くらぶ だより」 年2回発行</p>

8. 活動写真・説明



夕涼み自然かんさつ会



春休み自然たんけん隊  
IN明石公園



環境体験学習  
サポータースキルアップ研究会